第2回 辰野町部活動地域クラブ移行連絡協議会 議事録

日時：令和6年8月1日（木）

18：30～

場所：町民会館大会議室

1. 開会

2. あいさつ

先日、PTA連合会懇談会にて小学校PTA会長さんから辰野町の部活動地域クラブ移行について質問があった。令和8年度に部活動すべてを地域移行することは不可能とお答えした。急いでやっても3年間しかない中学生を混乱させてしまい本末転倒になってしまう。条件が揃いできる部活から地域移行していく。地域クラブ所属の生徒が中体連に出場しているケースもある。保護者負担をどうするか。全部を町で負担というわけにはいかない。課題はあるが、多くの生徒が部活に加入して熱心に活動している。陸上部の走り高跳びの生徒が44年振りに長野県の中学生記録を更新した。これはすごいこと。他にも様々な活躍をし、成果を残した生徒がたくさんいる。夢を持って部活動に取り組んでいる4分の3の生徒、残り4分の1の中には地域クラブに所属して、中体連出場をしている生徒もいる。この辺についても協議をよろしくお願いします。

3. 協議事項

(1) 推進計画について

資料説明

<教育長>

- ・保険について。部活は国家賠償法適用になるが、地域クラブは適応外、訴訟など保険でカバーできるのか。すでに地域移行を試行しているところではどうなっているのか。

<大嶋主事>

- ・スポーツ保険を使っていると思われる。確認します。

(2) 実証事業について

- ・資料「部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた環境の一体的な整備」参照
- ・辰野町も「地域クラブ活動への移行に向けた実証事業」に参加することにした。
- ・10月からリュシオのバドミントンを実証事業の一つとして申請。指導者謝金、施設使用料等が対象になる。

バドミントンクラブの活動状況（リュシオスポーツクラブ）

- ・別紙「リュシオB.Cの中学生の活動状況」参照

- ・バドミントンをやってみたいというアンケート結果に驚きと喜び。
- ・部活動時間・中学生 16 名が活動中。部活時間帯での活動は、月、火、木の週 3 回で完全下校の時間に合わせて活動している。
- ・土曜日は、リュシオ B.C50 名越えということでコートが足りず、時間を分けてやっているのので 3 時間丸々は練習できていない。
- ・競技会、大会出場を目指しているが、出場を希望しない生徒は、火と土で小学生と一緒に活動している。
- ・月会費は、フルで 4,000 円、火・土のみは 3,000 円、シャトル代が年間 8,000 円。他に大会参加費
- ・中体連、春季、秋季、新人戦が大きな大会。他、県バドミントン協会の大会参加も。
- ・日本スポーツ協会公認コーチ 3 名、審判員 5 名、保護者にもお手伝いをしてもらっている。
- ・公式大会では資格がないとベンチに入れなかったり審判員の要請があったりするなどの条件がある。全員が行けるわけではないので苦慮している。

【質問・意見】

<教育長>

- ・辰中生だけということか。

<リュシオスポーツクラブ>

- ・16 人の中には箕輪中学校の生徒もいる。事業費は、月会費には充てられない。
- ・他の種目では、勝ちたい生徒とそうでない生徒との間のストレスがあり難しい部分があるが、バドミントンについては棲み分けできるよさがある。

<教育長>

- ・勝ちたいと楽しみたい、部活でもあるのでは

<辰野中>

- ・教育的意義が目的の中学校部活は勝利至上主義でないことは、4 月の保護者代表者会では伝えている。
- ・結果だけでなく続けていくことを大事にしている。
- ・結果を全く求めていないわけではなく、勝った方が楽しいという部分も。楽しく活動し結果がついてくるように頑張るようにしている。

<大嶋主事>

- ・サッカーをしている。サッカーでは、勝ちたい子、プロを目指す子は、クラブチームを選ぶ。ほどほどにという子は、辰中の部活に。各競技団体でも今後、このようになっていくのではないか。

<教育長>

- ・指導者が中学部活の理念を理解し、楽しく学びながら力をつけていくことがよい。

<大嶋主事>

- ・保険について。地域クラブの千曲・坂城クラブは、会員、指導者が自己負担で「スポ

ーツ安全保険」に加入する義務がある。800円。

- ・事故の時は、保険の範囲内のみで対応すると規約にある。

<リュシオスポーツクラブ>

- ・リュシオも保険に全員入っているが、訴訟になった時のことが懸案事項になっている。

<教育長>

- ・現行の全部の部活が地域クラブ移行することは、辰野町だけでは無理。近隣市町村で連携する話を教育委員会同士でやっている。南箕輪村や伊那市が会場の場合、送っていく必要がある。友人保護者に同乗して事故というケースで訴訟問題も出てくることが考えられる。

<辰野高校>

- ・高校の実情について。2年前から条件付きで合同チームという状況。中体連は全国大会中止という流れの中にあるが、高校は学校対抗がベースにあり中学とは違いがある。外部指導者については、中学校と同じような考え方。いずれ高校でもこの流れ（地域クラブ移行）が来るので対応していくという段階。

<教育長>

- ・小学生保護者に説明していくことについてどうか。

<事務局>

- ・各小学校に行き、あらましの説明をして終わっている。方向が定まった時に、もう一度、説明していかなくてはいけないと考えている。

<PTA会長>

- ・小6が一番上の子ども。自分も部活をしてこなかったし息子も部活をやるつもりは全くない。よい悪いでない。8割が部活をやっているということだが、あるからやっているという生徒も結構いるのではないか。息子は、スイミングやっているが中学にいても続けるつもり。これから中学校に上がっていく子たちが、今までの習い事やスポーツをそのまま続けていくというのであれば、これまでの生活と変わらず困ることもない。

<教育長>

- ・周りの保護者からの相談があるのではないか。

<PTA会長>

- ・先日の会で部活の地域クラブ移行について質問した方がいたが、役員をやっているお父さんは野球とかをやっている方が多い。私には相談はない。小学校の親は実感としてないかもしれない。

<教育長>

- ・中学生が上にいけば心配になるかもしれない。

<リュシオスポーツクラブ>

- ・北信越ブロッククラブネットワークアクション2024、北信越5県総合型地域スポーツクラブの会議があった。スポーツ庁から地域移行の現状について、学校単位のチーム編成が難しくなって合同チームが増えてきていることや武道関係の専門性をもった先

生が減少しているといった話があった。また、地域移行が進んでいるところで、部活動の種目を絞って子どもが部活動を選べない状況にあることも話されていた。辰中剣道1年生はゼロ、合唱部も1年は数名という状況がある。広域的なくくりを考えていかななくては。現状をそのままは無理なので、その辺を踏まえた計画にしていかななくてはいけないのかという感想をもった。

<教育長>

- ・北部3町村でということも入っている。生徒数減少が想定を上回るペースで進んでいる。先生の減少も。辰中17の部活を辰野中だけで維持するのは無理。コーディネーターが、指導者の調整だけでなく近隣町村との調整という仕事を専属でやっていくことになる。

(3) 今後について

<事務局>

- ・部活動クラブ地域移行に関して中心的な役割を果たしていただきながら、土日の地域移行を進めていただく立場で一人お願いするべく予算要求している。人選がまだできていない。事務局だけでは業務の関係で調整等が難しい中、専属でお願いしてスピード感をもって進めていきたい。参考になるお話をいただいた。推進計画に反映していけるものは反映していきたい。霧が晴れるような内容にしていきたい。

<辰野美術会>

- ・辰野美術会では、歴代会長と話し合い写生大会などの手伝いはいくらでもしたい。美術室の使用などをお示しいただければ歴代会長達も尽力していきたいということでアンケートを出しました。

<大嶋主事>

- ・県内、10種目の部活は設置率50%以上。辰中では、人数が多い野球、サッカー、バスケット、バレー、陸上、テニス、卓球といったところ。これらは、辰野町のくくりでやっていけばよいのではないかと。希望が多いバドミントンは、広域に考えてできる範囲でやっていただきたい。

<教育長>

- ・指導者の手を挙げる方は、長野市、松本市あたりが多いのではないかと。分散することは不可能か。

<大嶋主事>

- ・そういう話は県の方でも出ている。対策を練ればと考えている。・・・(不明)。

<教育長>

- ・指導者を全県にうまく配置できるとよい。

<リュシオスポーツクラブ>

- ・民間で指導者を派遣してくれるところもある。実際、愛知県でやっている。足りない分はそういったところを活用することもよいのではないかと。

<大嶋主事>

- ・企業の動きも届いている。協力していただける企業があれば協力してもらおう。

<辰野高校>

- ・メインは教員の働き方改革。ここが肝。部活終了の6時半までの5時以降の1時間半をどうみるか。教員が指導者になるならばお金を出す、受益者負担で。経済的な格差があってはならないことは誰でも考えること。部活動指導任用事業は一人あたり18万3,000円余、市町村が同額負担、国から同額。18万の3倍が謝金としても指導者だけで生計を立てられず、ボランティアを頼らざるをえない。この部分を解決していかないといけない。名前を変えるだけで同じメンバー、同じ指導者でやっているのでは何もならない。先生方に代わる人を見つけられないことには保障できないし、子どもにとっても悲しいことになってしまう。長谷中は男子バレー、女子テニスのみだった。高校に行ったら違う種目や文化部へ。指導者とその裏にある団体を見据えて辰野町モデルと北部合同でやる部分、総合型スポーツクラブとの連携を踏まえていかないと先に進んでいかないのでないか。教員の兼職兼業制度があり、やりたい教員はいるのだが、教員の働き方改革について皆さんに理解していただき、新たな仕組みを作っていくなくてはならないと思っている。

<教育長>

- ・私も教員の兼職兼業は課題解決にならないと思っている。
- ・課題がはっきりした部分があれば、新たな課題が出てきた。以前よりはっきり見えてきた。皆さんの知恵をお借りしながら進めていきたい。

<事務局>

- ・中学校で来年度新入生保護者への説明があったと思うので様子をお聞きしたい。

<辰野中>

- ・11月に来年度の新入生保護者説明会と1,2年生の部活保護者代表の会があった。
- ・地域クラブ移行連絡協議会で審議が進んでいること、地域移行については、令和8年末を目標としているが全部変わるということではなく、準備ができれば移行していくこと、現行の部活は来年度も継続していくことを説明した。
- ・部活によりチームが組めない場合に合同部活をするなど、状況に応じて、その都度、部活動について保護者の皆さんとも相談しながら進めていくことを説明はさせていただいた。

(4) その他

<事務局>

この会の参加者の皆さんは協力していただける方々。それぞれの組織で情報を共有していただき、様々な方の意見を持ってきていただければよりよい方向が見いだせる。今後もよろしくお願ひします。

4. その他

5. 閉会